



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	35,674	20.5	6,190	43.4	6,242	43.5	3,970	39.7
2019年3月期第3四半期	29,615	7.5	4,318	15.7	4,348	15.7	2,841	6.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,962百万円 (40.4%) 2019年3月期第3四半期 2,821百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	127.59	
2019年3月期第3四半期	91.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	28,769	21,011	73.0	675.19
2019年3月期	25,953	18,294	70.5	587.87

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 21,011百万円 2019年3月期 18,294百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		40.00	40.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	10.9	6,970	16.6	7,000	16.4	4,550	14.5	146.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	31,121,520 株	2019年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,905 株	2019年3月期	1,863 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	31,119,644 株	2019年3月期3Q	31,119,697 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、改元に伴う大型連休の活況など明るい話題が見られた一方、相次ぐ自然災害の影響や消費税率引き上げによる消費マインドの悪化懸念など、先行き不透明感の高まりから個人消費は力強さを欠く状況で推移いたしました。また、業種・業態を超えた競争の激化、物流コストの上昇、人材不足を背景とした人件費の上昇などもあり、総じて厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、『超 超絶 WSR!! (※1)』を2019年の経営スローガンに掲げ、商品力、販売力・営業力、売場力のレベルアップによる現場力の向上を図り、主力ブランド及び主力商品の育成はもとより、新ブランド及び新業態並びに新商品開発に注力いたしました。また、「G T S (グレート・トランスフォーメーション・サクセス) (※2)」、「インバウンド対策の強化」、「海外展開 (海外における事業モデルの構築)」、「首都圏でのWSR化展開の推進」の4つの重点施策をテーマに取り組みました。

製造面では、品質及び衛生管理の一層の強化を図ると共に、設備投資による増産体制の構築及び生産性の向上に対処いたしました。

以上の取り組みにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,674百万円 (前年同期比20.5%増)、営業利益は6,190百万円 (前年同期比43.4%増)、経常利益は6,242百万円 (前年同期比43.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,970百万円 (前年同期比39.7%増) となりました。

なお、当社の海外連結子会社Honey Sucrey Limited (香港) は、香港への訪問者数激減など事業環境の急激な悪化に伴い、事業再建が困難と判断し、本年1月に当社取締役会において清算計画を決議いたしました。これに伴い、店舗等の固定資産に係る減損損失46百万円を特別損失に計上いたしました。

※1 WSR (ダブルエスアール) とは、グループ経営基本方針として2015年に掲げた経営スローガン『ワールド サプライジング リゾート (World Surprising Resort) 宣言』の略称であり、商品・店舗・接客・営業活動など、あらゆるビジネスのシーンで「世界へ、ありえないほどの驚きの、非日常 (超感動) を提供する」という意味が込められています。

※2 「G T S」とは、『Great Transformation Success』=「大転換による成功」を意味し、スピードとエネルギーを象徴する言語として命名しております

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## ① シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、既存店の販売強化及び積極的な新規出店などにより直営店売上が伸びました。また、営業強化などにより国際線ターミナル売店及び駅売店での卸売上が好調に推移いたしました。出退店につきましては、本年4月に「洋菓子のフランセ」の新業態店「レモンショップ by FRANCAIS」を小田急新宿駅西口地下構内に、「キャラメルゴーストハウス」の新業態「キャラメルゴーストパーティー」をキラリナ京王吉祥寺にそれぞれ出店するなど、計8店の出店及び5店の退店を行いました。その結果、売上高は12,752百万円 (前年同期比30.1%増)、営業利益は1,986百万円 (前年同期比38.6%増) となりました。

## ② ケイセイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイセイシイは、2018年9月に発生しました北海道胆振東部地震のマイナス影響の反動増に加え、営業強化などにより国際線ターミナル売店での卸売上が堅調に推移いたしました。また、通信販売では、ロイヤルカスタマー対策や限定商品投入などの対策強化が寄与し、通販売上が伸びました。新規出店では、昨年11月に「ナウオンチーズ」を渋谷スクランブルスクエアに出店するなど首都圏において計3店の出店を行いました。その結果、売上高は9,444百万円 (前年同期比13.7%増)、営業利益は1,118百万円 (前年同期比13.4%増) となりました。

## ③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、前年同期に行いましたグループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管したことによる減収要因が一巡し、グループ向け売上が増収基調に転じ、また、「サンドクッキー」などの新製品の営業強化及び販路拡大などにより代理店及び山陰地区での卸売上が好調に推移いたしました。その結果、売上高は8,956百万円 (前年同期比11.6%増)、営業利益は1,447百万円 (前年同期比38.3%増) となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、東海地区において、2018年11月に新店いたしました三重寿庵「伊勢神宮内宮前おはらい町通り店」の出店効果や改元祝賀ムードも追い風となり、主力商品「伊勢奉祝えびせんべい」が好調に推移いたしました。また、関西地区の販売子会社では、国際線ターミナル売店での卸売上が好調に推移いたしました。新規出店では、関西地区において昨年4月に新ブランド「ビスポッケ」神戸本店を立上げ、同年5月にあべのハルカス近鉄本店に出店し、更に、昨年7月に「京都ヴェネト」京都駅前地下街ボルタ店を出店するなど、計3店の出店を行いました。その結果、売上高は5,072百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は568百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、テーマパーク向けOEM生産の中止、製造ライン新設によるグループ向け売上の増大など前連結会計年度の期中からの取り組みが奏功し、収益性が大幅に改善いたしました。また、首都圏を中心にフレンチトースト専門店「アイボリッシュ」などの期間限定店舗の売上が伸長いたしました。新規出店では、昨年8月に「アイラブカスタードヌフヌフ」の2号店を福岡空港に、昨年10月に新ブランド「ミスターキャラメリスト」を博多駅構内にそれぞれ出店いたしました。その結果、売上高は3,664百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益は465百万円（前年同期は営業利益41百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾及び香港）における菓子事業が含まれており、売上高は638百万円（前年同期比270.3%増）となり、営業損失は112百万円（前年同期は営業損失109百万円）となりました。

なお、「その他」には、第1四半期累計期間より前連結会計年度に連結の範囲に含めましたHoney Sucrey Limited（香港）が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、28,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,816百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（1,464百万円）、建物及び構築物（純額）の増加（565百万円）、機械及び運搬具（純額）の増加（326百万円）、現金及び預金の増加（205百万円）、建設仮勘定の減少（221百万円）などの要因によるものです。

負債は7,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（431百万円）、未払金の増加（123百万円）、賞与引当金の減少（345百万円）、長期借入金の減少（167百万円）などの要因によるものです。

純資産は21,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,717百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（3,970百万円）、配当金の支払いによる減少（1,244百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増加の73.0%となり、1株当たり純資産は675円19銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、前回公表数字（2019年5月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」）から変更いたしておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,659,617	5,865,140
受取手形及び売掛金	4,897,052	6,361,460
商品及び製品	1,669,636	1,787,868
仕掛品	84,750	92,381
原材料及び貯蔵品	560,709	695,376
その他	331,526	456,489
貸倒引当金	△845	△701
流動資産合計	13,202,445	15,258,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,264,236	4,829,818
機械装置及び運搬具(純額)	2,559,283	2,885,395
工具、器具及び備品(純額)	455,669	458,639
土地	2,887,139	2,887,139
リース資産(純額)	2,640	1,177
建設仮勘定	222,010	765
有形固定資産合計	10,390,977	11,062,933
無形固定資産	158,089	156,465
投資その他の資産		
その他	2,208,878	2,299,291
貸倒引当金	△6,856	△6,855
投資その他の資産合計	2,202,022	2,292,436
固定資産合計	12,751,088	13,511,834
資産合計	25,953,533	28,769,847
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,336,926	1,767,942
1年内返済予定の長期借入金	252,729	240,096
未払金	1,373,043	1,496,613
未払法人税等	1,229,875	1,236,919
賞与引当金	795,680	449,833
ポイント引当金	10,832	23,595
その他	805,132	791,073
流動負債合計	5,804,217	6,006,071
固定負債		
長期借入金	180,017	12,353
退職給付に係る負債	1,473,259	1,551,048
その他	201,718	188,693
固定負債合計	1,854,994	1,752,094
負債合計	7,659,211	7,758,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	15,800,192	18,525,879
自己株式	△2,063	△2,376
株主資本合計	18,339,090	21,064,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,233	13,497
為替換算調整勘定	△27,188	△32,563
退職給付に係る調整累計額	△38,813	△33,716
その他の包括利益累計額合計	△44,768	△52,782
純資産合計	18,294,322	21,011,682
負債純資産合計	25,953,533	28,769,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	29,615,863	35,674,966
売上原価	12,429,785	14,468,817
売上総利益	17,186,078	21,206,149
販売費及び一般管理費	12,867,903	15,015,270
営業利益	4,318,175	6,190,879
営業外収益		
受取利息	651	69
受取配当金	5,010	4,913
受取地代家賃	14,052	15,479
保険解約返戻金	21,826	—
その他	22,169	44,659
営業外収益合計	63,708	65,120
営業外費用		
支払利息	2,253	1,278
持分法による投資損失	16,560	—
その他	14,126	12,582
営業外費用合計	32,939	13,860
経常利益	4,348,944	6,242,139
特別利益		
固定資産売却益	659	116
特別利益合計	659	116
特別損失		
減損損失	—	132,193
固定資産除売却損	—	289
固定資産除却損	19,487	13,846
災害による損失	37,543	—
特別損失合計	57,030	146,328
税金等調整前四半期純利益	4,292,573	6,095,927
法人税等	1,450,647	2,125,454
四半期純利益	2,841,926	3,970,473
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,841,926	3,970,473



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,841,926	3,970,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,074	△7,736
為替換算調整勘定	△4,148	△5,375
退職給付に係る調整額	2,096	5,097
持分法適用会社に対する持分相当額	△298	—
その他の包括利益合計	△20,424	△8,014
四半期包括利益	2,821,502	3,962,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,821,502	3,962,459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイ シイ	寿製菓・但馬 寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,674,707	7,950,540	5,483,301	4,379,574	1,955,218	29,443,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127,564	353,680	2,544,932	14,516	729,676	3,770,368
計	9,802,271	8,304,220	8,028,233	4,394,090	2,684,894	33,213,708
セグメント利益 (△は損失)	1,432,902	986,384	1,047,324	369,168	41,811	3,877,589

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	172,523	29,615,863	—	29,615,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,770,368	△3,770,368	—
計	172,523	33,386,231	△3,770,368	29,615,863
セグメント利益 (△は損失)	△109,835	3,767,754	550,421	4,318,175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額550,421千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,020,456千円、セグメント間取引消去額20,045千円、たな卸資産の調整額△38,618千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△451,462千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイ シイ	寿製菓・但馬 寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,500,951	9,124,725	6,179,823	5,058,108	2,172,559	35,036,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	251,080	319,690	2,776,277	14,844	1,492,300	4,854,191
計	12,752,031	9,444,415	8,956,100	5,072,952	3,664,859	39,890,357
セグメント利益 (△は損失)	1,986,004	1,118,928	1,447,985	568,407	465,815	5,587,139

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	638,800	35,674,966	—	35,674,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,854,191	△4,854,191	—
計	638,800	40,529,157	△4,854,191	35,674,966
セグメント利益 (△は損失)	△112,381	5,474,758	716,121	6,190,879

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾及び香港)における菓子事業が含まれております。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度に連結の範囲に含めましたHoney Sucrey Limited(香港)が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額716,121千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,214,289千円、セグメント間取引消去額21,191千円、たな卸資産の調整額△16,709千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△502,650千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイ」及び「ケイシイシイ」並びに「その他」の資産グループについて減損損失を計上いたしております。

なお、当該減損損失の当第3四半期連結累計期間における計上額は「シュクレイ」38,770千円及び「ケイシイシイ」46,897千円並びに「その他」46,526千円であります。